



丹波・篠窯跡群の 最新成果

—歩いて調べた須恵器生産—

2012年
10月3日〔水〕—25日〔木〕

[会場]立命館大学アート・リサーチセンター 1階 閲覧室 —入場無料—

[開館時間]午前9時30分—午後5時 ※土・日・祝日は休館

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/>

[主催]文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室、立命館大学映像学部細井研究室、立命館大学アート・リサーチセンター

[協力]藤原重彦、高橋照彦(大阪大学文学研究科准教授)、大阪大学考古学研究室、京都・大学ミュージアム連携



近代友禅デザインの 仮想と現実

—デザイン原画とデジタルミュージアム—

2012年10月29日〔月〕—11月26日〔月〕

丹波・篠窯跡群の最新成果

—歩いて調べた須恵器生産—

文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)京都文化研究班木立研究室・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室では、京都府亀岡市篠窯跡群の分布調査を継続して行なってきました。篠窯跡群は、近畿有数の須恵器窯跡として著名であり、平安宮・京との関係も深い生産遺跡として注目されてきました。各地の里山の「開発」が進行し、多くの須恵器窯跡群が破壊されましたが、篠窯跡群は保安林に指定されたこともあって奇跡的に残されてきました。その意味でも重要性が高い遺跡です。しかし、京都縦貫自動車道の敷設に先立つ発掘調査以後、その研究は平安京との関係に偏った歴史的価値付けに終始したまま、停滞しておりました。

そうした中で行なってきた分布調査によって、篠窯跡群の歴史的イメージは大きく変更されつつあります。また、藤原重彦氏による精力的な分布調査や大阪大学考古学研究室の発掘調査でも、重要な成果が生まれつつあります。

こうした新しい研究成果をはじめて公開し、新しい篠窯跡群の歴史像を提示したいと考えています。



林道に削られた小谷1・2号窯



篠窯跡群最古の須恵器(自蓮坊窯跡採集品)

■展示関連検討会

「丹波・篠窯跡群の最新成果－分布調査と発掘調査－」

〔日時〕2012年10月25日(木) 16:20～19:00

〔会場〕立命館大学アート・リサーチセンター 2F 多目的ルーム
入場無料／予約不要

[プログラム]

—報告—

□木立雅朗(立命館大学文学部教授)

「主旨説明と分布調査の意義」

□岩城奈歩・熊谷舞子(立命館大学文学研究科院生)

「近年の分布調査成果の概要—鶴ノ川右岸を中心に」

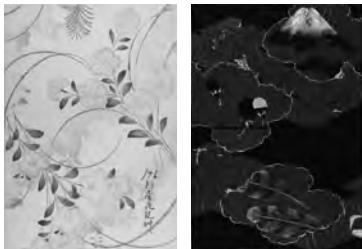
□高橋照彦(大阪大学文学研究科准教授)

「大谷3号窯の発掘調査と篠窯跡群」

報告後、質疑応答

近代友禅デザインの仮想と現実

—デザイン原画とデジタルミュージアム—



展示概要(予定)

1. 近代友禅デザイン① 伝統柄
2. 近代友禅デザイン② モダン柄
3. 近代友禅デザイン③ 折衷柄
4. 図案家の足跡—皆川月華—
5. デザインの足跡—製品の実態—
6. 仮想と現実(デジタル展示ブース)
おわりに—近代デザインの足跡—

文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)京都文化研究班木立研究室・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室では、近代友禅デザイン(図案・絵摺類)を収集し、その修復とデジタル・アーカイブを行なってきました。その資料価値について企画展などで展示・公開し、図案の価値について訴え続けてきました(立命館大学国際平和ミュージアム、立命館大学アート・リサーチセンター)。

今回の展示では、「近代」をイメージしたデザインをまとめて展示し、比較検討したいと思います。戦前の和服デザインは極めてモダンであるとともに、「伝統」に対して固執している側面もあり、そのことが図案に明瞭に示されています。また、図案は、図案家の足跡を語る貴重な歴史資料です。これらの資料を仮想空間でも展示することによって、仮想と現実の双方を見比べて鑑賞して頂きたいと思います。

【展示品予定】 アート・リサーチセンター所蔵近代友禅デザイン(図案・絵摺)
個人所蔵襦袢・着物(アート・リサーチセンター所蔵図案による製品)

■展示関連イベント(予定) ※詳細は決まり次第、HP等でお知らせいたします。

「近代友禅デザインの仮想と現実」講演会

〔日時〕2012年11月2日(金) 10:40～13:00

〔会場〕立命館大学アート・リサーチセンター 2F 多目的ルーム
入場無料／予約不要

京都・大学ミュージアム連携 合同展覧会

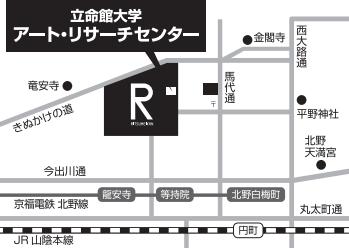
「大学は宝箱！—京の大学ミュージアム収蔵品展—」

詳しくはこちら→ <http://univ-museum-kyoto.com/>

〔2012年10月3日(水)～11月25日(日) 9:30～16:30(入館は16時まで)

〔京都大学総合博物館[休館日:月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)]〕

〔入館料:一般 400円/高校生 300円/中・小学生 200円/大学生・大学院生 無料〕



- 主催 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)木立研究室、立命館大学映像学部細井研究室、立命館大学アート・リサーチセンター
- 協力 藤原重彦、高橋照彦(大阪大学文学研究科准教授)、大阪大学考古学研究室、京都・大学ミュージアム連携
- URL 立命館大学アート・リサーチセンター <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/>
- 問い合わせ先 立命館大学アート・リサーチセンター事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL: 075-466-3411(平日9:00～17:30) e-mail: arc-jimu@arc.ritsumei.ac.jp

